事業名：「ノーマライゼーショントレーニングの商品化」

一般社団法人日本デフビーチバレーボール協会

事業実施の背景・課題、目標

- 会費
- 入場料
- 放映権
- スポンサー

→

現状のデフスポーツでは左記の収入形態は多くを望めない

現状のリソースを整理発展させ、独自の収益源を獲得する

本事業は、デフスポーツ及び当協会の認知度が極めて低いという根本的な課題から出発しています。一般社団法人日本デフビーチバレーボール協会として、競技振興だけでなく、より広範囲な社会貢献を通じて組織基盤の強化を図る必要性を感じていました。
障がい者スポーツの持つ可能性を活用し、特に発達障がい児童への運動療法提供という社会的ニーズの高い分野に着目しました。従来の障がい者向けプログラムは市場が小さく、医学的・理学的な側面が強調されがちで、社会への伝搬性に課題がありました。運動療法の要件である参加性と継続性を高めるためには楽しさが必須であり、健常・障がいの区別なく参加できる包括的なプログラムの開発が求められていました。
本事業の実施により、「ノーマライゼーショントレーニング」を「Be-Youプログラム」として商品化し、より大きな市場の獲得を図ることで、競技団体としての財政基盤の安定化と社会的認知度の向上を目指しています。

本事業における具体的な取組内容

本事業実施期間全体を通じて、「ノーマライゼーショントレーニング」の商品化＝Be-Youプログラムの開発と実装を軸とした包括的な取り組みを展開しました。

計画No.1 指導用テキストとしてのプログラムの絵カード化
実施期間：令和5年4月1日～令和7年3月31日
取組内容： 早稲田大学広瀬統一教授の指導実施により、感覚統合理論を基盤とした協調運動改善のためのコーディネーショントレーニング＝Be-Youプログラムを開発しました。株式会社ジャクエツとの連携のもと、作業療法士3名の監修により、施設において遊びの中で実践できるプログラムを絵カード化しました。「Be-Youプログラム」としてネーミングし、商標登録申請を並行実施することで法的保護を確立しました。

計画No.2 エンタメコンテンツの広報イベント開催

実施期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日
取組内容： スクエアエニックス、日本ビクター、ホリプロとの連携により、広報リソースの獲得を図りました。当初計画していた電波媒体を利用したイベントは調整の都合により中止となりましたが、タレントの肖像を使った専用ウェブサイトを自団体サイトに組み込み、新たな位置づけの獲得を目指しました。主催の競技大会にイベント要素を組み込み、会場での周知を図るとともに、一般向けセミナーを開催し、発達障害児童支援関係者・機関への直接的な広報を行いました。

本事業における具体的な取組内容

計画No.3 児童発達支援事業所の開設

実施期間：令和4年4月1日～令和7年3月31日
取組内容： Be-Youプログラムを実践するための通所型児童福祉施設の自主運営を開始しました。既に運営実績を持つベビーサポート社から研修・指導および業務代行を受け、市場調査から施設選定、職員確保、利用者拡大まで包括的な運営ノウハウを構築しました。業務内容をすべてドキュメント化することで属人性の低い運営システムを確立し、OJTによる実践的な訓練も実施しました。

キネサポ亀川/上野西/大在

計画No.4 ジャクエツ社との連携による営業体制構築

実施期間：令和5年4月1日～令和7年3月31日
取組内容： 遊具玩具の開発販売をリードするジャクエツ社との連携で、Be-Youプログラム専用遊具および指導ツールを開発しました。早稲田大学広瀬統一教授との共同開発により、指導者のスキルや経験に依存しない標準化されたプログラム実施環境を整備しました。ジャクエツ社の販売網と営業力を活用した他施設への販売体制を構築し、ロイヤリティ獲得の仕組みを確立しました。

Be-You KITTO

計画No.5 動作解析プログラム開発

実施期間：令和4年4月1日～令和7年3月31日
取組内容： 早稲田大学広瀬統一教授の指導のもと、前年度までに開発した日立のプログラムを合目的に転用し、実際の支援対象児童に対する動画解析を実施しました。Be-Youプログラムの効果を客観的に示すとともに、評価手法および改善方法の確立に取り組みました。

Be-You プログラム ヒアリング＆アセスメントシート
――支援に向けた子どもの発達特性理解のために――

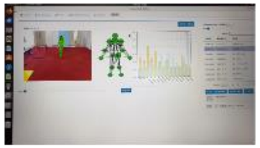
お子さまの名前：　年齢：　歳　性別：男児・女児　記入者：　記入年月日：

【感覚】
① 感覚特性

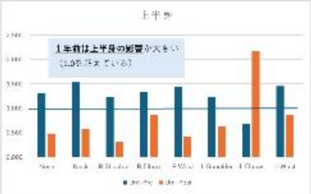
音に対して過敏さがあると感じることがありますか	□よくある □ときどきある □ほとんどない
触覚に過敏さがあると感じることがありますか	□よくある □ときどきある □ほとんどない
においや味に対して強いこだわりがありますか	□よくある □ときどきある □ほとんどない

【認知】
② 注意・集中・多動
③ 衝動性・情緒調整
④ 実行機能・生活スキル
⑤ モチベーション・自己評価・自己認知
⑥ 抽象・象徴性・柔軟性の困難

1年前はバランスを崩している影響があるものの、上半身の影響が強く働いている。



今は下半身の影響が主で運動を実施できている。（バランスと協調運動能力の改善か？）



令和6年度の取組内容

令和6年度は、これまで蓄積してきたノウハウと連携関係を活用し、事業の実用化と拡大に重点を置いて取り組みました。

- 指導用テキストの絵カード化においては、専門性の高いプログラムを療育初心者でも取り組めるレベルまで標準化することに成功しました。株式会社ジャクエツのデザイナーとイラストレーターとの協働により、視覚的に理解しやすく指導しやすいカード式教材を完成させました。
- エンタメコンテンツを活用した広報活動では、知名度の高い企業との連携により外部への説明が円滑となり、中央競技団体としての信頼度が利用児童獲得の際にプラスに作用しました。
- 児童発達支援事業所の運営については、1施設での安定的な黒字化を達成し、2施設目でも黒字月が出始めるなど、財務基盤の強化に進展が見られました。さらに3施設目の申請まで完了（現在は開園運営中）し、事業拡大の可能性を具体的に示すことができました。
- ジャクエツ社との連携による営業体制では、専用遊具および指導者用教材の共同開発により、他施設への水平展開が容易になる基盤を構築しました。全国販売網を活用したロイヤリティ収入の仕組みも確立し、補助金に依存しない持続可能な事業構造の確立に向けて大きく前進しました。
- 動作解析プログラムの開発では、1施設の協調運動障害の傾向を持つ児童に運動療法を実施し、開始時のデータと1年後の経過データを比較することで、実際に協調運動障害が改善されたことを客観的に証明することができました。

令和6年度の取組の進捗・成果・課題

- 令和6年度の最大の成果は、Be-Youプログラムの標準化と事業化体制の確立です。専門の指導者がいないとできなかったプログラムが、療育初心者でも取り組めるレベルまで改良され、療育の透明化にもつながり施設の評価向上に貢献しています。
- プログラムの標準化により、大阪の事業所からプログラム導入依頼を受けるなど、他地域への展開も始まっており、事業の拡張性を実証できました。また、中央競技団体でありながら児童福祉事業を行っていることが好意的に受け止められ、組織の社会的信頼度向上につながっています。
- 財務面では、補助事業終了後も継続可能な収益構造を確立し、1施設での黒字化達成と2施設目での収益改善により、自走可能な状態に近づいています。ジャクエツ社との連携によるロイヤリティ収入の仕組みも構築され、持続的な収益基盤の多様化を実現しました。
- **【令和6年度に生じた課題】**
- 事業拡大に伴い、指導者によるスキル・理解度の差が顕著になり、プログラムの品質維持と標準化の徹底が課題となりました。また、遊びを基本とした楽しい療育であるがゆえに、効果の可視化が指導者・保護者により強く求められるようになりました。
- 全施設での安定的な黒字化にはまだ課題が残っており、福祉事業特有の複雑な制度への対応や、効率的な施設運営の最適化が継続的な課題として認識されています。

本事業の成果目標・KPIの達成状況

本事業では競技団体としての従来の指標とは異なる、社会事業化の観点からの成果評価を重視しました。

成果目標・KPI1 発達支援プログラムの標準化と他地域展開
Be-Youプログラムの絵カード化により標準的な指導教材が完成し、大阪をはじめとする他地域からの導入依頼を受けるまでに至りました。

成果目標・KPI2 持続可能な収益構造の確立
1施設での黒字化達成、2施設目での収益改善、3施設目の申請完了により、段階的な事業拡大の道筋を確立しました。ジャクエツ社との連携によるロイヤリティ収入の仕組みも構築されています。

成果目標・KPI3 プログラム効果の客観的証明
動画解析による協調運動障害改善の客観的証明に成功し、療育効果の可視化を実現しました。

本事業を通じて感じた成果、課題等

【成果等】

- 本事業を通じて最も大きな成果は、競技団体としての新たなアイデンティティの確立です。デフビーチバレーボールという競技の普及だけでなく、より広範囲な社会貢献を通じて組織の存在意義を拡大することができました。
- スクエアエニックス、日本ビクター、ホリプロ、ジャクエツ社などの知名度の高い企業との連携が実現したことで、競技団体としての信頼度が大幅に向上し、今後の事業展開における強固な基盤を構築できました。
- Be-Youプログラムの開発と標準化により、「遊びの工夫で、笑顔が増える」というコンセプトのもと、スポーツ科学の視点から生まれた運動療育プログラムを社会実装することができ、障がい者スポーツの新たな可能性を示すことができました。

【課題・問題意識等】

- 事業の拡大に伴い、品質管理と人材育成の重要性がより明確になりました。多様な職種が連携する児童福祉施設において、経験の差が大きい状況下でのプログラム品質維持は継続的な課題です。
- また、福祉事業特有の複雑な制度対応や、効果の可視化に対する保護者からの高い期待への対応など、競技団体にとって新たな専門性の習得が必要となっています。

【活用/解消にかかる取組み】

- これらの課題に対し、業務内容の完全なドキュメント化による属人性の排除と、ベビーサポート社との連携によるOJT実施により、実践的な訓練体制を確立しました。
- 早稲田大学広瀬統一教授の研究室との連携により、科学的根拠に基づく評価手法の確立と、継続的な改善システムの構築に取り組み、品質維持と効果の可視化の両立を図っています。

本事業を踏まえた将来的な構想

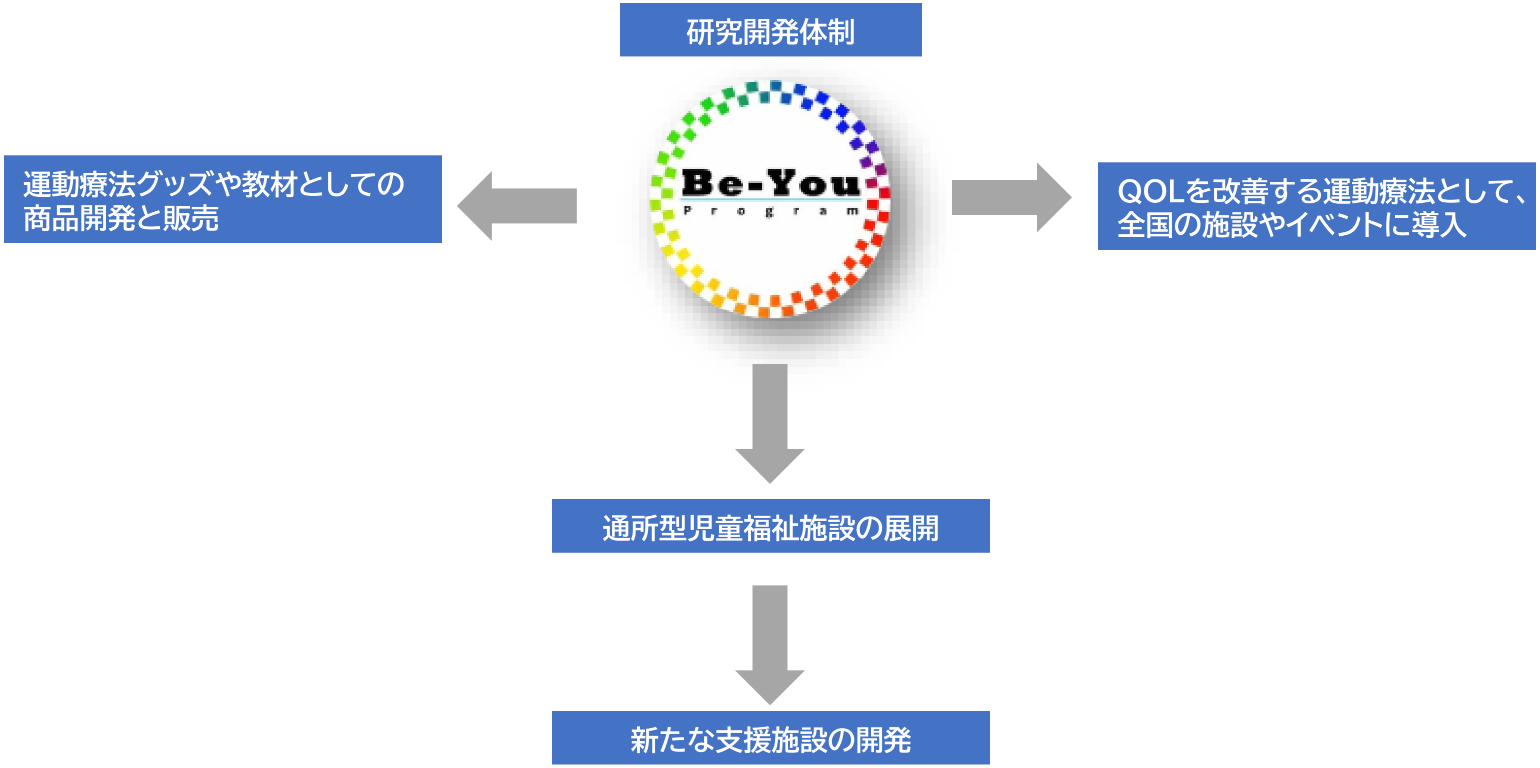
【令和7年度以降の構想】

- 令和7年度以降は、本事業で構築した基盤を活用し、全国展開による事業拡大と収益の安定化を目指します。ジャクエツ社の全国販売網を活用した他施設への普及モデルを本格稼働させ、ロイヤリティ収入による持続的な収益確保を実現します。

- 現在運営している3施設すべての黒字化を達成し、さらなる新規施設開設により事業規模の拡大を図ります。並行して、Be-Youプログラムの継続的な改善により、競争優位性の維持・向上に取り組みます。

- 組織面では、福祉事業運営に精通した専門人材の確保と育成を進め、競技振興と社会事業の両輪による組織運営体制を確立します。これにより、デフスポーツの普及という本来の使命を果たしながら、持続可能な組織基盤の強化を実現します。

- 早稲田大学広瀬統一教授との連携による開発体制を継続し、プログラムの科学的根拠の蓄積と新技術の導入により、常に最先端の療育サービスを提供できる体制を維持します。



本事業を踏まえた将来的な構想

新たな支援施設の開発

具体的には、これまで培ってきた支援の知見と地域との連携を基盤に、今後の展開として「Taxonia（タクソニア）モデル」を開発します。これは、「卒業する発達支援事業所」のコンセプトのもと、発達障がい児・者が支援を受け続ける存在から、社会に貢献する存在へと成長するための新たな支援施設のかたちです。

事業コンセプト Taxoniaは、0歳から25歳までの段階的支援を通じて、療育・学習・職業訓練を統合し、最終的には年収400万円の経済的自立と納税者としての社会参加を目指します。支援のゴールを「卒業」と定義し、支援を終えた先にある“飛び立ち”を支える革新的な福祉モデルです。

社会的背景と課題 発達障がい児は、いじめ・不登校・中退・自殺など深刻な困難に直面しています。支援体制は量的拡大に偏り、質的支援が不足。長期的な支援滞留は依存を生み、自立を妨げます。障害年金制度の不備や支援人材の不足も課題です。

Taxoniaモデルの革新性 支援の出口を「卒業」と明確に定義し、Be-youプログラムにより協調運動・認知・社会性・情緒の発達を科学的に支援。職業準備期（16～18歳）では施設内実習を通じて支援者としての意識を育成。職業確立期（19～25歳）では児童指導員等の資格取得を支援し、経済的自立と納税者としての社会参加を実現します。

段階的支援構造 0～15歳は基礎療育期として能力開発と社会性育成を行い、16～18歳は職業準備期として実習や通信制高校を活用。19～25歳は職業確立期として正規雇用と資格取得を支援します。

組織構成と運営体制 児童発達支援・放課後等デイ・相談支援・就労支援などを統合運営。大分市を起点に別府・由布・県内全域へさらには全国へと展開。卒業生職員の採用により、支援の質と人材確保の両立を図ります。

社会的インパクト 生涯支援コストを削減し、納税者としての税収貢献を創出します。インクルーシブ社会の実現と偏見の解消を図ると同時に、当事者職員による支援の深化とロールモデルの開発も行います。

最終的には、Be-Youプログラムを全国的なスタンダードとして確立し、Taxoniaモデルを収益事業モデルとして確立します。これにより、障がい者スポーツ団体による社会事業展開の先駆的モデルとして、他の競技団体への横展開も視野に入れた事業発展を目指します。

卒業する発達支援事業所

TAXONIA
A runway for taking off.

Taxonia（タクソニア） 「飛び立つ前の助走路。個の力を育み、社会へと滑走する場所」
TAX = Taxiing（助走） ＋ Talent（才能） ＋ Axis（軸）
ONIA = 地域・文化圏・共同体

この定義により、「Taxonia」は単なる“納税者の育成”ではなく、“飛び立つ準備をする人々のための場所”としての情緒的な意味合いを持ちます。